

色止剤 ミカノール

使い方説明書

必ずご使用の染料の説明書をお読みになってから本品をご使用ください。



- ・コールドオール/ホット・直接みやこ染で、綿・麻・レーヨンなど、植物繊維を染色した後、水で薄めて使用する色止め剤です（ビニロンは植物繊維と同じ方法で染めることができますが、色止めは不要です）。
- ・完全に色落ちを防ぐものではありません。他のものと一緒の洗濯は避けてください。
- ・素材・加工方法により色止め効果が得られない場合があります。
- ・すでに染色されている既製品には色止め効果が得られない場合があります。
- ・藍染・草木染めには効果はありません。

準備するもの

※仕上がりの色味を正確に確認したい場合は、一度乾かして色味を確認後、色止めを行ってください。



●染めた布

染色後、ソーピング(洗い)作業を行ってから色止めを行ってください。



●染めた布がゆったり動かせるくらいの大きさの容器

※ソーピング(洗い)に使用した容器を流用しても構いません。

●染めた布が浸かる量のぬるま湯(染色した温度より低い温度)

※染めた布の重さ(乾いた状態)の約25倍が目安です。

使用量の目安

※下記の割合を基準にし、色止めに使用する湯量に合わせてご使用ください。

湯量	2ℓ
色止剤 ミカノール	4ml (小さじ1杯程度) ※50ml、500ml入りの商品はボトルのキャップ1杯が約4mlです。

色止めの手順

ゴム手袋の着用をおすすめします

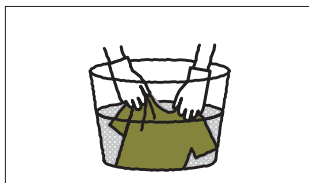
① 色止め処理液を作る



布が十分浸る量のぬるま湯(染めた温度よりも低い温度)に上記の割合を基準にして必要量の色止剤を加え、軽く混ぜます。

※ボトルのキャップ、または小さじなどを使って計量してください。

② 染めた布を色止め処理液に浸す

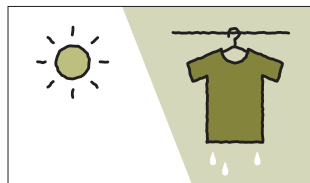


染色後、ソーピング(洗い)作業を行った布を①のぬるま湯に20分程度浸します。

※色止め処理中に染料が滲み出てムラになる場合がありますので、時々かき混ぜてください。

※染めた色ごとに分けて色止めしてください。

③ 水ですすぎ、かげ干しする



軽く水ですすいだ後、脱水し、かげ干しをします。

アイロンをかければ完成です。

※すすぎすぎると色止め効果が低下します。

色止め処理液の捨て方

使用後の色止め処理液は、ステンレスシンクなどで、排水溝めがけて捨ててください。

色止め処理後の取り扱いについて

色止めの効果は洗濯を繰り返すことで徐々に弱くなります。

使用上の注意

- ①作業をするときは、ゴム手袋の着用をおすすめします。
- ②色止め処理に使用した鍋やボウルなどでの調理はお控えください。
- ③幼児の手の届くところに置かないでください。
- ④絶対に飲まないでください。誤って飲み込んだときは水で口をすすぎ、また、目に入ったときは多量の水で洗眼して、医師の診断を受けてください。
- ⑤保管するときは、高温・多湿・直射日光をさけてください。
- ⑥用途以外のご使用および、説明書に記載されていない方法で使用した場合に不都合が生じて、製品の性質上、当社は責任を負いかねます。

MADE IN JAPAN 国内自生産



桂屋ファイングッズ 株式会社

東京都中央区日本橋小舟町14-7

<https://www.katsuraya-fg.com/>

「よくあるご質問」
「お問い合わせ」は
公式サイトまで▶

